



湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（石部小）学校

教科・単元名	国語・うみのかくれんぼ
授業者氏名	
授業実践期日	9月17日
ねらい	生き物のひみつについて幅広く興味をもてるようする。
冊数	26冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書館教育担 当・学校司 書等の関わりも含む）	<p>生き物のひみつやびっくりするようなことを資料から見つけ、「びっくり！いきものかくれんぼカード」を作る言語活動を設定する。授業者が学校司書に単元のねらいと単元構想を伝えた上で、学校司書が適切な本を探し、単元の始めにブックトークを行った。『見つけよう いきものかくれんぼ』シリーズと付属ポスターを使って、クイズ形式でブックトークを行い、その後教室前に関連図書を置いて、児童が並行読書しやすい環境設定をした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成 果	ブックトークで紹介してもらった本は多くの写真が掲載され、視覚的にも捉えやすいものであった。児童は生き物の隠れ方に興味をもち、ブックトーク後にすぐ本を見ている子もいた。意欲的に活動できるきっかけになったことが大きな成果だと感じる。
課 題	本の書き方によっては、子どもたちが適切な情報を取り出しにくいものもあった。魅力的な写真が多い資料にばかり注目して、文章の中の重要な語や文を選び出すことができない子もいたので、子どもの実態に応じて、より抜粋した本の選定の必要性を感じた。

湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（石部小）学校

教科・単元名	総合的な学習の時間「石部小笑顔満開プロジェクト」
授業者氏名	
授業実践期日	11月下旬
ねらい	身の回りのいじめや差別について考え、なくすために自分ができることを考えることができる。
冊数	15冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関 わりも含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別をなくすためにできることは、どんなことがあるか話し合いを行った後、実際に本を使って調べ学習を行った。 （「いじめの原因」「いじめの関係図」「いじめの歴史」など） ・図書館司書と連携をして、本の選定を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別について、基本知識を知る機会になった。 ・調べ学習を通して、いじめや差別をなくす思いを深めることができた。 ・いじめや差別について、6年生の子どもたちが理解できる内容の本が少なかったが、インターネットに比べると、情報の正確さもあり、子どもたちの学びを深めるよい資料となった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本校には、いじめや差別に関する本が少なかったため、一人一冊ではなく、グループごとに2冊ずつ回し読みをさせた。来年度以降、本の購入を検討している。 ・今年から初めて総合的な学習の時間で人権学習の取り組みを行ったが、6年生だけでなく、どの学年でも必要な学習だと感じた。道徳科とも連携しながら系統的に学習を進める必要性を感じた。

湖南省
学校図書館の機能を有効活用した
授業実践報告

教科・単元名	2年 国語科「めざせ！本のしょうかい達人！！～あらすじをかいて しょうかいしよう～」 教材「スイミー」
授業者氏名	
授業実践期日	6月3日～6月25日
ねらい	友だちにお気に入りの本を紹介するために、あらすじを書くを通して、 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようになる。
冊数	11冊（5種類×2冊、ほか1冊）
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関 わりも含む）	<p>【事前の打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと学習の流れを確認。 ・2年生が読める本で、あらすじをとらえやすい絵本の選書。 ・第1時にブックトークでおさえてほしいポイントの相談。 <p>【学習の流れ】</p> <p>第一次</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校司書（本の紹介達人）の本の紹介を聞く。 つけたい力を確認する。「お話をあらすじにまとめる力」 並行読書スタート ②学校司書が紹介したあらすじから、達人の技を見つける。 <p>第二次</p> <ol style="list-style-type: none"> ③本の紹介達人になるための学習計画を立てる。 ④達人の技（つなぐ技）を使って、「スイミー」一・二場面のあらすじを書く。 ⑤達人の技（まとめる技）を使って、「スイミー」三場面のあらすじを書く。 ⑥達人の技（へんしん技）を使って、「スイミー」四・五場面のあらすじを書く。 ⑦達人の技を使って、「スイミー」のあらすじをまとめる。 ⑧「スイミー」のあらすじ発表会をする。 <p>第三次</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨⑩⑪⑫達人の技を使って、自分が選んだ本のあらすじを書く。 友だちがどんな技を使って、 あらすじを書いたのか見つける。 ⑬となりの学級の友だちにお気に入りの本のあらすじを紹介する。 （あらすじ交流会） 単元のふり返りをする。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持たせたことで、自分が選んだ本をすすんで読む姿が数多く見られた。 ・学習のゴールの目指す姿として、学校司書を「本の紹介達人」とすることで、単元を通して学習の意欲付けができた。また、単元の始めに学校司書が読み聞かせをしたり、最後には学習の成果を達人に見てもらおうという活動を組むことで、一貫した活動をすることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本の選書については、特に吟味が必要であった。話が長すぎたり、大事なポイントが見つけにくかったりする本があった。単元がスタートする直前に慌ただしく選書するのではなく、もっと余裕をもって、ねらいに合っているお話かどうかを十分話し合って考える時間を持つようにしたい。



湖南省
学校図書館の機能を有効活用した
授業実践報告

湖南省立（石部南小）学校

教科・単元名	5年 国語科「すぐれた表現に着目して読み、物語の魅力を伝え合おう」 教材『大造じいさんとガン』
授業者氏名	
授業実践期日	11月17日～12月9日
ねらい	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
冊数	80冊（必読書7種類・自由読書22種類）
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>【事前の打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと学習の流れを確認。 ・ブックトークでおさえていただきたいポイントの相談。 <p>【選書のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間と動物の交流を描いた椋鳩十の作品。 ・家族に対する愛情や仲間を守ろうとする勇氣ある行動が表現されている作品。 ・登場人物の心情の変化より効果的に表現するための情景描写が豊かな作品。 <p>【学習の流れ】</p> <p>第一次</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校司書のブックトークを聞く。 つけたい力を確認する。「すぐれた表現を見つけ、自分の考えを友だちと交流し、考えを広げる力」 学習計画を立てる。 並行読書スタート ②『大造じいさんとガン』を読んで、初発の感想を書く。 <p>第二次</p> <ol style="list-style-type: none"> ③『大造じいさんとガン』の構成と内容の大体をつかむ。 ④⑤⑥大造じいさんの気持ち変化を考える。 ⑦『大造じいさんとガン』で一番印象に残った場面を選び、物語の魅力について考え、魅力カードにまとめる。 <p>第三次</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑧椋鳩十作品の中から、自分のお気に入りを選び、魅力カードにまとめる。 ⑨物語の魅力を紹介しあい、自分の考えを広げる。 ⑩単元のふり返りをする。
成 果	<p>○単元の導入で学校司書によるブックトークを聞いたことで、椋鳩十作品に興味を持ち、意欲的に読書に取り組む子の姿や、表現に着目して読む子の姿が見られた。</p> <p>○並行読書のマトリクスを掲示することで、子どもたちの読書意欲が高まり、多くの作品と出会い、椋鳩十の世界観に触れることができた。</p> <p>○ねらいに沿って選書し、必読書を絞ったことで、子どもたち同士でお話のおもしろさや表現を共有することができた。</p>
課 題	教科書教材や並行読書材の全文シートを作成するのは時間がかかり、大変な作業なので、作成した学校があれば、教育系ネットワークで共有できると非常に便利である。




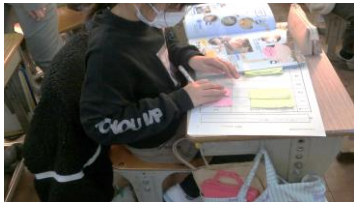
湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（三雲小）学校

教科・単元名	3年 国語科「本のしょうかいカードをかこう（まいごのかぎ）」
授業者氏名	
授業実践期日	7月9日～7月16日
ねらい	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることができる。
冊数	40冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>〔事前打ち合わせ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議な世界観が描かれた本を人数分以上、用意していただいた。 ・司書の先生に単元構成を伝えた。 <p>〔学習の流れ〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教師の紹介カードを確認して、見通しを持つ。 ②まいごのかぎで話の要点を読み取る。→紹介カードを書く。 ③自分が選んだ本で、紹介カードを書く。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一冊の確保で、じっくりと読み込むことができ、内容を捉えることができた。 ・一人ひとり違う本を紹介することで、自分のカードに責任を持って取り組むことができた。 ・司書の先生と打ち合わせがあったので、教師が意図する本を活用することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次までに読み切れない量の本もあった。 ・一人一冊の良さもあったが、教師が事前に読み切ることが難しかった。子どもたちのカードは要点を読み取れていたものになっていたが、評価するのが大変だった。

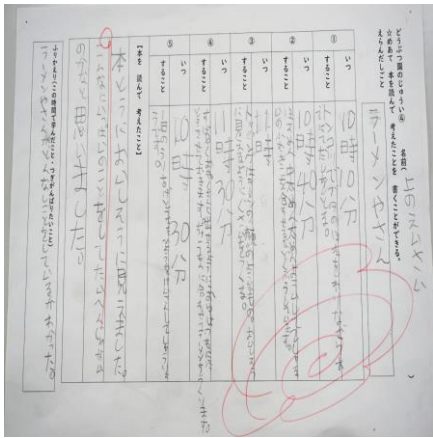
湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（三雲小）学校

教科・単元名	国語科 「食べ物へんしん図かん」を作ろう
授業者氏名	
授業実践期日	令和3年12月8日 5校時
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することが出来る。 ・考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述をもとに捉えることができる。
冊数	40冊
単元の工夫及び指導の工夫（図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む）	<p>〈事前打ち合わせ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆やその他の食べ物の変身を紹介している本についてブックトークをお願いした。 ・子どもが読み取りやすい食べ物の変身についての本が足りない場合は、市内の小学校から子どもの求める本を用意してもらった。 <p>〈学習の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師の変身図鑑を見て見通しを持つ。 ② ABワンセット方式で『すがたをかえる大豆』を読み取り、自分の選んだ本を活用して変身図鑑を書く。 ③ できたものを友だちと読み合い、よりよい文章にしたり、新しい知識に気づいたりする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・司書さんのブックトークで学習への意欲が高まり、『すがたをかえる大豆』の読み取りにも役立った。 ・市内の学校と連携して本を集めていただいたことで、児童が自分の選んだ本を一冊ずつ手にして学習をすすめることができ、学習意欲の高まりにつながった。 ・一人一冊あるので、付箋を直接貼っても混乱することが無かった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい本は限られているので、同じ種類の本で調べる児童が多く、交流の際に多様な意見を比べることができなかった。 ・事前に本を集めていても同じ本を選ぶ児童がいて、再度集め直す必要があった。

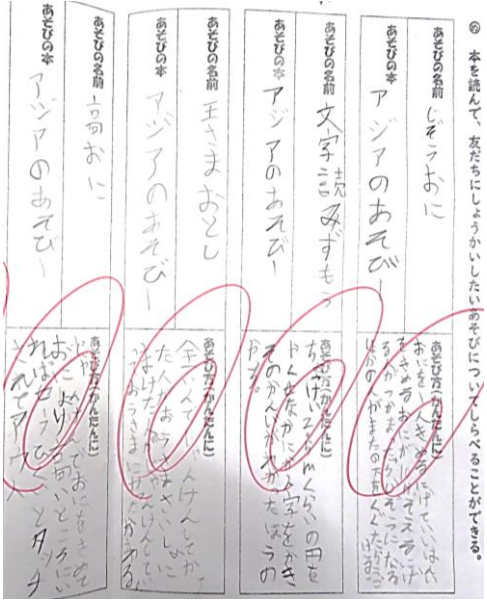
湖南省立（三雲東小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（三雲東小）学校

教科・単元名	国語科 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう（知的4年）
授業者氏名	
授業実践期日	2021年5月～
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○中心人物の行動や気持ちについて叙述をもとに読むことができる。 ○文章を読んでわかったことについて感想や考えをもつことができる。 ○シリーズの本を読んで、中心人物の人柄について考えることができる。
冊数	3冊
単元の工夫及び指導の工夫（図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む）	<p>○時間や時間の経過を表す言葉を抜き出し、その言葉に併せて場面を区切った。</p> <p>○場面での獣医さんの行動に線を引くことで文章中の言葉からはずれないように取り上げ、整理していくようにした。</p> <p>○できる限り、毎時間関連した本を読む時間をとった。</p> 
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○時間で区切りながら読み進めるのは、登場人物の行動や仕事を読み取って、整理しやすかった。 ○教材文でのワークシートと同じように関連図書でもそのまま使えるものがあり、読み取りやすかった。 ○本を読む時間を確保することでより理解が確実に自分の選んだ本を自信を持って紹介することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を表す言葉が書き出されていない図書は、丸ごと読んで考えないと書きにくいので難しかった。 ○支援学級で十分活用しようと思うと交流学級が使用する時期とずらす必要がある。 ○説明文は正確に読み取ることが不可欠になるが、科学絵本などと同様に初めて知ったことの驚きや感動を大事に育てたい。

湖南省立（三雲東小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（三雲東小）学校

教科・単元名	国語科 だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう（2年）
授業者氏名	
授業実践期日	2022年1月～
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
冊数	21冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>○文章を読みながら、大事だと思った箇所をメモに書き取る活動を行い、その後、書き抜いた言葉を比べて、報告に必要な言葉を選んで整理するようにした。</p> <p>○タブレットのカメラを活用し、本を取り合うことがないように、記録を残した。</p> <p>○できる限り、毎時間関連した本を読む時間をとり、様々な説明の文章にひたれるようにした。</p>  <p>◎ 本を読んで、友だちにしようかいたしたいのそびについて知らせることができた。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを併用して使うことで図書を一人が確保せず、より多くの図書を読むことができた。 ○教科書教材で整理するのに使ったワークシートを応用して図書資料の整理にも使うことができた。 ○選んだ遊び方の面白さを説明するに当たって、自分たちが選んだ資料からも、説明に必要な言葉を抜き出すことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○選んだ図書によっては読み仮名がついておらず、個別支援にあたる必要があった。 ○調べたことをメモに整理し、スピーチをする活動をした。書いた文章をそのまま読むのではなく、メモを見ながら自分で文章を組み立てて話す力を継続して養っていきたい。 ○関連図書によって様々な言い回しがされており、児童によっては書き抜く場所が分からず混乱していたため、個別支援にあたっていきたい。

湖南省市 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省市立（ 岩根小 ）学校

教科・単元名	5年 国語科 文章を読んで「わたしとメディアとの関わり方」についてまとめ、伝えよう
授業者氏名	
授業実践期日	11月29日～12月13日
ねらい	文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、文章を読んでまとめた意見や感想を共有することで、自分の考えを広めることができる。
冊数	約18冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書と授業者が打ち合わせをし、授業のねらいや単元構想を伝える。 ・情報、フェイクニュース、SNSの使い方というテーマにしぼり、活用方法を共通理解する。 <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が適切な本をリストアップし、本を準備する。 ・図書用移動トラックに使用図書を並べ、使いやすい状態で配架する。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①メディアとの関わり方について書かれた書物を読む。（朝読書の時間、教科の隙間の時間などに常に並行読書を行う。） ①ブックトークを聞き、興味を高める。 ②教材文を読み、感想を書く。 ③学習課題に向けて、学習計画を立てる。 ④全体の構成を捉え内容を把握し、事実と意見の関係を叙述を基に捉える。 ⑤筆者の主張を比喩表現に着目して読み解く。。 ⑥「わたしとメディアとの関わり方」について自分の考えをまとめ、交流する。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に表紙が見えるように置いたことで、手にとる児童が増えた。 ・絵と文章のバランスが良く読みやすい本、児童が興味を持つような本を学校司書に選定していただいたことで、情報に関わる幅広い本を用意することができ、充実した読書活動につながった。 ・本の一覧表を用意し、読んだ本に印をつけることができるようにしたため、多くの本を読むことができた。 ・単元後段で「自分の経験」を振り返る際、並行読書の内容を活用する児童が多く見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1冊用意することができなかつたため、1冊を複数人で読む姿が見られた。そのため一人で落ち着いて読むことができないことがあった。



湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（ 岩根小 ）学校

<p>教科・单元名</p>	<p>5年 国語科 登場人物の関係や気持ちがここで変わった！～紹介カードを書こう～ 「大造じいさんとガン」</p>
<p>授業者氏名</p>	
<p>授業実践期日</p>	<p>1月26日～16日</p>
<p>ねらい</p>	<p>登場人物の関係や気持ちの変化を読み取り、物語の山場を捉える。</p>
<p>冊数</p>	<p>14冊</p>
<p>単元の工夫 及び指導の 工夫（図書館 教育担当・学校 司書等の関わり も含む）</p>	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書と授業者が打ち合わせをし、授業のねらいや単元構想を伝える。 ・動物とのふれ合いについてというテーマにしぼる。 <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書がリストアップした本から、登場人物の気持ちの変化が分かりやすい本を選定する。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動物とのふれ合いについて書かれた本を読む。（朝学習、教科の時間等） ①教材文を読み感想を書く。紹介カードを見て、学習の計画を立てる。 ②ブックトークを聞く。読書スタンプラリーの説明を聞く。 ③分からない言葉の意味調べをし、内容を確認する。 ④「大造じいさんとガン」の登場人物やあらすじをまとめる。 ⑤大造じいさんとガンの心情を読み取り、紹介カードにまとめる。 ⑥自分が紹介したい本の紹介カードを作り、図書室に置く。 <div data-bbox="331 1303 874 1653"> </div> <div data-bbox="890 1303 1423 1653"> </div>
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書スタンプラリーをし、本を読んだらスタンプがもらえるようにすることで、意欲的に読書ができた。 ・並行読書をする本の選定では、文章の量や挿絵のわかりやすさを基準に選んだことで、児童が内容をしっかり把握することができた。 ・登場人物の気持ちを読み取るときに、表情のマークを書くことでより気持ちに迫れた。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードにあらすじを書く欄を作ったが、自分であらすじを短くまとめることは難しかった。本の背表紙や表紙裏を参考にさせた。 ・他の書物で「紹介カード」を作成するとき、個々が異なる書物で取り組むため、一人で仕上げるのは困難な児童もおり個別の支援が必要であった。





湖南省立（菩提寺小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（菩提寺小）学校

教科・単元名	2年 国語科 『お気に入りの本をしょうかいしよう』
授業者氏名	
授業実践期日	令和3年9月2日～9月13日
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • これまでに読んだ本やおもしろそうだと思う本の中から、友達に紹介したい本を選び、簡単な内容・登場人物・おもしろいと感じたところを紹介することができる。
冊数	45冊（校内）
単元の工夫及び指導の工夫（図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む）	<p>【事前打合せ・事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学習のねらいと学習の流れを確認。 • ねらいにあった選書を依頼。選定した本を廊下に設置。 • おすすめの本紹介動画の見本を撮影。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①タブレットで撮影した図書館司書や教師によるおすすめの本の紹介動画を見る。 ②学習計画を立てる。 ③並行読書に取り組む。読書記録をつける。 ④教科書教材「ミリーのすてきなぼうし」で紹介する内容、話し方を学習する。 ⑤学習したことをつかって、お気に入りの本を紹介する動画をとる。（ワークシート） ⑥お気に入りの本を紹介する動画を見合って、感想を交流する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> • 学校司書によるおすすめの本紹介動画の見本を見せたことで、自分たちもおすすめの本を動画で紹介したい、という意欲を持つことができた。 • 字数が多い本と少ない本を意図的に選書していただいたことで、読むことが好きな子も読むことが苦手な子も自分に合った本を選んで取り組むことができた。 • 感想を交流する学習で、子ども達から、内容や登場人物の紹介、面白いと感じたところが、簡単にまとめられていると分かりやすくて読みたくなる、という感想があった。学習後、友達の紹介した本を手取る姿が見られるようになった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> • ペアで動画を取り合い話す姿を確認することで、自分の話し方や声の大きさを確認することができ、よりよい発表にしようという意欲をもって練習に取り組むことができた。一方、動画を撮影することに夢中になり、本時のめあてを見失っている子もいた。 • 読書記録をつけたことで楽しんで読書する姿が増えた。たくさんの本を読んだことで一冊選ぶことがむずかしくなってしまう子もいた。 • 読書記録については、今後も継続していきたい。

湖南省立（菩提寺小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（菩提寺小）学校

教科・単元名	国語科 「うみのかくれんぼ」
授業者氏名	
授業実践期日	令和3. 10. 6 ~ 10. 26
ねらい	海にくらす生き物のかくれ方や特徴を調べ、「うみのかくれんぼずかん」を作る。
冊数	10冊程度
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいと単元計画を伝え、必要な本の選書を依頼する。  <p>【単元全体の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「うみのかくれんぼ」を読み、問いを確認し、それに対する答えを探していくことを伝える。 ②教科書に出てくる、はまぐり・たこ・もくずしよい3匹の生き物の「かくれている場所」「からだのこと」「かくれかた」について“海のかくれんぼシート”にまとめる。 ③海にいるかくれるのが上手な生き物が載った本を読み、気に入った生き物のページから問いにあった内容を探す。 ④“海のかくれんぼシート”に「生き物の名前」「かくれている場所」「からだのこと」「かくれかた」についてまとめる。 ⑤まとめた“海のかくれんぼシート”を教室に掲示する。   
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が多く、内容も分かりやすい本が多かったため、子どもたちも意欲的に学習に取り組めた。 ・1年教室前ろう下に本を置いたことで、子どもたちが気軽に本を手にとることができた。 ・教科書教材を使って「かくれんぼシート」を書くことで、スムーズに自分の選んだ本でも、完成させることができた。 ・教室に子どもたちが書いたかくれんぼシートを掲示することで、「どの本に載ってる?」「私も見てみたい」など、学習が終わってから本に親しむ姿が見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・「1年生にも分かりやすい内容」で、本を選ぶのが難しく、冊数が十分に確保できなかった。

湖南省立（菩提寺北小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（菩提寺北小）学校

教科・単元名	お手紙
授業者氏名	
授業実践期日	10月
ねらい	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知1・ク) 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知3・エ) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思C1・カ)
冊数	29冊
単元の工夫 及び指導の 工夫(図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む)	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいと単元構想を担任から学校司書へ伝え、学習に必要な図書を司書がリストアップする。 リストアップした図書を担任が確認し、準備する。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校司書にお手紙が出てくる本をブックトークで紹介してもらい、お手紙に興味を持つ。 ②教科書教材「お手紙」を使い、物語の内容を把握する。 ③音読劇に向けて、登場人物の気持ちを想像しながら読む。 ④事前に準備した本を並行読書し、読書に親しみ、さらに登場人物について知る。 ⑤役割分担し、音読劇の練習をする。 ⑥音読劇の発表会をする。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書によるブックトークで、様々な本があることを知り、読書の意欲を高めることができた。 ・司書と相談をし、学習が始まる前から子どもたちが自由に本を読むことができるように本を準備したため、興味をもって選書することや、意欲付けに繋がった。 ・「お手紙」と同じシリーズの本などに興味を持って、進んで読書に親しむ姿が見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書が子ども任せになっていたため、たくさん読んでいる子とあまり読んでいない子との差があった。

湖南省立（菩提寺北小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

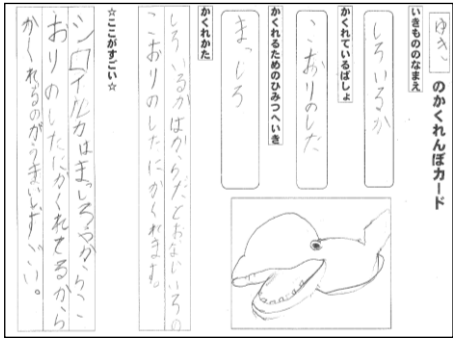
湖南省立（菩提寺北小）学校

教科・単元名	おにごっこ
授業者氏名	
授業実践期日	1月
ねらい	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知3・工） 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思C1・力）
冊数	10冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと単元構想を担任から学校司書へ伝え、学習に必要な図書を司書がリストアップする。 ・リストアップした図書を担任が確認し、準備する。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教科書教材「おにごっこ」を使い、説明文の構造や内容を把握する。 ②自分の経験を結び付けながら、遊び方のおもしろさなどを捉える。 ③事前に準備した本を並行読書し、紹介する遊びを本から選ぶ。 ④選んだ遊びについて、構成を考えながらメモを書く。 ⑤書いたメモを使って、友だちに遊びを紹介する。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・司書と相談をし、学習が始まる前から子どもたちが自由に本を読むことができるように図書を準備したため、興味をもって選書することや、意欲付けに繋がった。 ・たくさんの遊びの種類を知るために、読書に親しむ姿が見られた。 ・自分の選んだ遊びを紹介するために、必要な情報を読み取ったり、さらにどんな遊び方の工夫ができるか考えたりする様子が見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・自校にある分のみ本を準備したため、授業で使う際に1人1冊本を読むことができなかった。 ・班の友だちとは紹介し合い交流することができたが、全体交流の時間の設定ができなかった為、紹介した遊びについての意見や感想を伝え合うことが全員できなかった。



湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

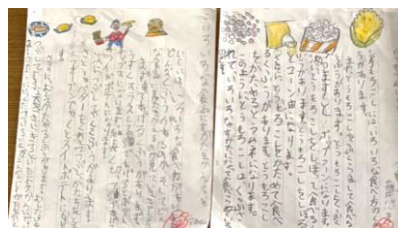
湖南省立（ 下田小 ）学校

教科・単元名	1年 国語科 「うみのかくれんぼ」
授業者氏名	
授業実践期日	9月29日～10月12日
ねらい	うみのかくれんぼの学習で学んだことを活かし、自分で調べたい生きもののかくれんぼを決め、必要な情報を本から選び出し、かくれんぼカードを作ることができる。
冊数	16冊（自校6冊）
単元の工夫及び指導の工夫（図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む）	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと単元構想を担任から学校司書へ伝える。 ・適切な本を学校司書が選書。 ・授業者が確認を行い、教室内にかくれんぼカードコーナーを設置。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「いきものかくれんぼカード」を作って、友達に紹介するという単元のゴールを示し、学習計画を立てる。 2、はまぐり、たこ、もくずしよいのかくれんぼについて「隠れている場所」「隠れるための秘密兵器」「隠れ方」を見つけ、かくれんぼカードにまとめる。学校司書による「見つけよう！生きものかくれんぼ」シリーズの読み聞かせを行う。 3、自分の調べたい生きもののかくれんぼについて、かくれんぼカードにまとめ紹介する。 
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内にかくれんぼシリーズコーナーを設置したことにより、授業以外の時間にも積極的に本をとって読む姿が見られた。 ・学校司書が読み聞かせを行うことで、様々な生きもののかくれんぼを知ることができ、教科書に掲載されている3つの生きもの隠れ方と比べる様子が見られた。また、十分に本に親しむ時間をとったことで、調べたい生きものをすぐに選ぶことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を選び出すことができるようなるべく情報量の少ない本のシリーズを限定したが、1人で「場所」「秘密兵器」「隠れ方」を見つけるのは難しかった。調べたい生きもののかくれんぼカード作りは、2人1組で行い、まずは1人で見つける→ペアで確認と協力しながら作るなどの指導の工夫が必要である。

湖南省立（下田小）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

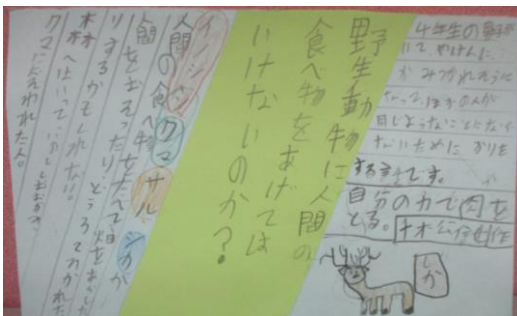
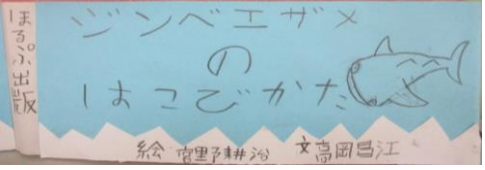
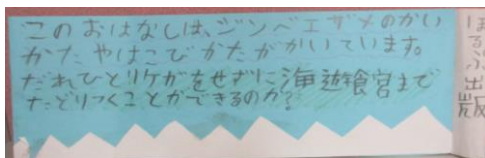
湖南省立（下田小）学校

教科・単元名	3年 国語科 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつ教えます」
授業者氏名	
授業実践期日	11月29日～12月10日
ねらい	「すがたをかえる大豆」で学習した説明の工夫（具体例の挙げ方、文章の組み立て方）を活かして、本で調べた食べ物を紹介する文章を書くことができる。
冊数	15冊程度
単元の工夫及び指導の工夫（図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む）	<p>【事前打ち合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと単元構想を担任から学校司書へ伝える。 ・適切な本を学校司書が選書。 ・授業者が確認を行い、教室前のブックトラックへ本を設置。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「調べた食べ物について説明する文章を書く」という単元のゴールを示す。 2. 「すがたをかえる大豆」を読み、具体例の挙げ方（れい）、文章の組み立て（はじめ・中・終わり）、接続語（つなぎ言葉）について学習を進める。 3. 学校司書による読み聞かせを行い、食べ物を調べ、文章を書くことへの意欲を高める。 4. 本を使って食べ物を調べ、説明する文章を書き、イラストを描く。 5. 完成した文章を学級で読み合い、単元を振り返る。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって身近な食べ物（米、小麦、とうもろこし、魚、いも、牛乳）を調べさせたことで、より意欲的に取り組むことができた。身近な食べ物の意外な変身に対して、驚いている子どもが多かった。 ・文章を書く前に、文型や文の組み立てについて示したことで困惑することなく文章が書けている子どもが多かった。 ・給食と関連させることで、学習を深めている子どもいた。 ・ブックトラックに本を設置していたことにより、授業時間以外にも本をとって読む姿が見られた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本の中から必要な情報を取り出すことが難しく、書いてあることすべてを書こうとして、膨大な文章量になってしまっている子どもいた。文型や文の組み立てだけでなく、情報の取り出し方についても、丁寧に指導するべきであった。





湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（ 水戸小 ）学校

教科・単元名	4年 国語科 「事実にもとづいて書かれた本を読もう」 (光村図書：4年上)
授業者氏名	
授業実践期日	7月1日～7月15日
ねらい	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づく。
冊数	76冊（自校76冊）
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>【事前打ち合わせ・準備（担任・学校司書）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと単元構想を共通理解した上で、学習課題に適した選書ができるよう、司書が図書の配架整理を行う。 <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1次) ①ノンフィクションとはどのような本なのかを確認し、学習課題をつかむ。 (2次) ②選んだノンフィクションを読む。 ③読んだ本のよさを紹介する方法について考える。 (学校司書によるポップや帯の紹介、書き方のポイント指導) (3次) ④読んだ本のポップや帯を作る。 ⑤互いに読んだ本のよさを交流する。   
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・伝記、ドキュメント、絵本など、さまざまなノンフィクションの本を教室前に配架したことで、読書が好きな子も苦手な子も、自分が興味のある1冊を選ぶことができた。 ・モデルとなるポップや帯の実物が紹介されたことや、学校司書による作り方のポイント指導があったことで、完成をイメージしながら本のよさを伝えるための情報を整理することができた。 ・ポップや帯・普段は手に取らないような本も、ポップや帯を見て読むようになるなど、選書の幅が広がった。 ・学習成果物として図書室でも掲示したことで、他学年の児童もノンフィクションに関心をもつきっかけとなった。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本だと読みやすい反面、内容が少ないため伝えたい情報をまとめることがかえって難しい様子であった。 ・夏休み前の学習で交流時間が少なかったため、もう少し学習時期を早くすると、夏休みに向けての選書にもより生かされた。


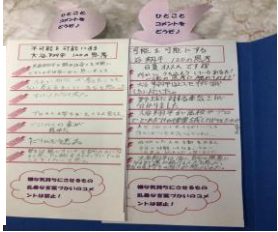
湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（ 水戸小 ）学校

教科・単元名	1年 国語科 「じどう車くらべ」 (光村図書：1年下)
授業者氏名	
授業実践期日	10月11日～10月24日
ねらい	事柄の順序などを考えながら、文章の中の重要な語や文を選び出す。
冊数	38冊（自校38冊）
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わり も含む）	<p>【事前打ち合わせ・準備（担任・学校司書）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと単元構想を共通理解した上で、学習課題に適した選書ができるよう、司書が図書の配架整理を行う。 <p>【学習の流れ】</p> <p>(1次) ①自動車について、知っていることを話し合い、それぞれ「しごと」と「つくり」があることを確認し、学習課題をつかむ。</p> <p>(2次) ②教科書に出てくる自動車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 ③選んだ自動車についての本を読む。 ④選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、カードに書き出す。</p> <p>(3次) ⑤カードをもとに、自動車クイズ図鑑を作る。 ⑥友達とクイズを出し合い、いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」について知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリー形式でのブックトークにより、いろいろな自動車への関心をより高めることができた。 ・並行読書では、教科書と同じ「しごと」と「つくり」について簡潔に書かれている本を多く使用したことで、教科書での学習を生かして、必要な情報を書き出すことができた。 ・単元終了後もしばらく廊下に本を配架したことにより、友達のクイズで興味をもった自動車について、本を読み広げる姿が見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書にはたくさんの写真も使用されているため、文章からではなく、写真から「つくり」を書こうとしてしまい、文章をじっくり読み込むことができていない場面があった。 ・必要な情報を文から書き出すことが苦手な児童のために、本のどこから読み取ったのか、並行読書の読み方や書き出しの途中経過なども交流できるとよかった。

湖南省立（石部中）学校 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（石部中）学校

教科・単元名	国語・ブックウォーク
授業者氏名	
授業実践期日	5月13日（木）～5月18日（月）
ねらい	様々なジャンルの本や純文学などに触れ、読書の幅を広げる。
冊数	約80冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p>事前の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを共通理解したうえで、学校司書と国語科教員をだけでなく他教科の教員も参加し、使用するのに適切な図書を選書をおこなった。 ・手作りの葉を用意し、各教員で本のおすすめのポイントを書き、はさむ。この葉は、生徒が読んだ感想をひとこと書くスペースがあり、他の人がその本に対してどのような感想をもったのか、を見ることもできる。 <p>単元の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席に座り、目の前に置かれた本を読む。（1回目、15分間） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> →葉に感想を記入（2～3分）→座席を決まった方向に移動。 →前に置かれている本を読む。（2回目、10分間）（3回目、8分間） ★時間設定を短くしていくことで、生徒の集中力が最後まで持続した。 </div> <ul style="list-style-type: none"> →最後、ブックトーク全体の感想と振り返りを記入させ、終了。 <p>（工夫）読むことが難しそうな生徒には、司書が適宜差し替えをおこなった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>授業の様子 →</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>感想の葉 →</p>  </div> </div>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年でおこなったことで、読む本のレベルを必然的に易～難と揃えることができ、レベルにあったものを生徒も読むことが可能であった。また、感想も三学年が同じ葉に記入するため、捉え方の違いを楽しむこともできていた。 ・強制的に本が準備されているので、集中できない、読みたくない、という生徒もいるかと心配したが、ほとんど全員が集中して取り組んでいた。 ・生徒からは、「初めて読むジャンルだったが面白かった!」「自分では手に取らない本がたくさん知れた。」「続きが気になる、時間がほしい!」などの前向きな感想が多かった。また、授業後は実際に、その本を借りる姿も見られた。 ・教員側の意見として、国語科からは読書推進に有効な手法であるため今後、改善を加え継続していく方向で意見がまとまった。他教科で選書に携わった教員にも、生徒の反応や感想を伝えるため、図書だよりにて情報共有をおこなった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・準備に少し労力がかかる。1クラス約35人に対し、80冊程度の本を必要とする <p>※1ため、年に何度も実施するのは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業後に、生徒が貸出を希望することを想定し、自校図書のみで準備をしなければならない点。 <p>※1…設定時間内に読みきってしまう生徒のおかわり用が必要。</p>

湖南省立
学校図書館の機能を有効活用した
授業実践報告

湖南省立（石部中）学校

教科・単元名	2年 社会科 「産業の発達と元禄文化」
授業者氏名	
授業実践期日	1月27日（木）～2月18日（金）
ねらい	江戸時代の文化に興味をもち、現代と比較して考えを深める。
冊数	約150冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書館教育担 当・学校司 書等の関わりも含む）	<p>事前の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを共通理解した上で、学校司書が適切な本を助言、選定をする。 ・調べ学習がスムーズに行えるように、事前にテーマをざっくり考えさせる。 ・調べ学習の2時間のうち、各クラスの授業が終わるごとに状況を確認し、声かけの仕方や説明の方法を工夫するような改良を重ねていく。 <p>単元の流れ</p> <p>① <u>考えてきた個々のテーマをもとに本を選び、情報を収集する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 江戸の文化の幅広い分野に目を向けられるように、具体例を出した。（歌舞伎、浮世絵とは違った、トイレ、ペットなど。） ★ 最初に評価基準を述べることで、生徒たちは課題の目的や見通しをもって取り組むことができていた。 <p>② <u>iPadを使用して情報をまとめたり、写真を入れ込んだりしながら各自のテーマで資料を作成。最終的に班で一つの作品になるようにする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 江戸時代と現代を比較することを見据えてテーマを決めたり、内容を絞ったりするように声かけを積極的におこなった。 <p>③ <u>教室のテレビ画面上で各班の作品を教員が紹介。教員からの質疑と掛け合い形式での発表をおこなう。</u></p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代と現代を比較することができた生徒は、教科書での学習をさらに深めて考えたり、今までの学びをリンクさせて考えるきっかけになった。 ・iPadを資料作成で用いたが、「なぜ、まず本からなのか。」を司書から説明したことで、インターネットの検索機能に頼りすぎることなく、本から情報を見つけ出そうとする姿勢の生徒が多かった。 ・iPadを文房具の一つという感覚で抵抗なく使うことができた。まとめ作業の際に、レイアウトの工夫をスムーズに行うことができていたのが良かった。（記述が苦手な生徒もiPadでの作成はやりやすいようだった。）
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を抜き出して写すことで満足したり、多く取り出しすぎてまとめられなかったりする生徒が多かった。情報を精査することや、調べたことを自分なりに整理する力をつける必要がある。 ・いくつかの本を比較して情報を取り出す方法を学ぶ機会を設けたい。 ・写真で見ることが出来る資料が多い方がイメージさせやすかった。（文字の資料を読む力が足りていない傾向。） ・現代の文化についての一般的な知識が足りていない状態の生徒が多かったのが気になった。様々な本に日常的に触れる機会を多く作る必要がある。



湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（ 甲西中 ）学校

教科・単元名	3年総合「京都について調べる（修学旅行事前学習）」
授業者氏名	
授業実践期日	10月11日～15日
ねらい	京都について深く知る
冊数	125冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関 わりも含む）	<p>【学習の流れ】</p> <p>①授業者がねらいの説明。司書が本の種類と活用の仕方を説明。各自が自由に本を使ってテーマを決めていく。</p> <p>②引き続き調べた事柄をまとめていくが、興味の広がりによって新たな資料を利用する。</p> <p>※使用した資料は参考文献として必ず表記することを伝えておく。</p> <p>③清書</p> <p>【司書の関わり・事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の趣向に合わせて学校司書が適切な資料を収集。分類展示。 本の種類を理解し、内容によって複数の本の活用を勧める。 授業が終わるごとに状況を確認し、打ち合わせてサポートしていく。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習に寄って伝統産業や文化、各地の寺社や旧所名跡、歴史等へ興味が広がり、もっと調べたい、実際に訪ねることが楽しみだという意欲につながった。 本や雑誌を読み込むことでネットとは違う信頼性や内容の豊富さに触れて改めてその良さに気づいたという意見もあった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ネットに慣れすぎて、情報量の多い本から情報を得ることが難しいと感じ、慣れるまでの時間を要した結果、時間が足りなくなった生徒もいた。 本の冊数としては十分であったが使いたい本が集中して利用出来ない生徒もでてきたことから、今後はテーマを大切にしつつ、幅を持たせた資料の使い方の指導を考えていく。

湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（ 甲西中 ）学校

教科・単元名	1年国語「いにしへの心にふれる」
授業者氏名	
授業実践期日	12月2日
ねらい	古典作品の魅力を新聞で表す
冊数	88冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書館教育担 当・学校司 書等の関わりも含む）	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者がねらいの説明。ワークシートに「竹取物語」についての基本情報を書き込むよう指示を与える。 ・司書が「竹取物語」の紙芝居の読み聞かせをし、物語の大まかな筋を確認する。 ・いろいろな竹取物語の現代語訳本を紹介し、出典によって細かい部分に違いがある等、作品理解の深め方や新聞制作に使えるような情報を提供する。 ・過去の成果物を参考にしながらレポートと新聞の違いについての説明。 ・新聞制作の説明。主に、割付の仕方やそれぞれのパーツの役割について詳しく説明する。 <p>【司書の関わり・事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が古典作品と解説本を収集。古典作品展示。 ・古典作品のブックトーク準備と新聞製作についての手順と割付について資料作成。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」の内容をはっきりとは知らない生徒が多かったので、紙芝居の読み聞かせが有効であった。 ・「新聞自体を見たことがない」という生徒もいたので、新聞の複雑な構成や初めて聞く名称に戸惑っていたが、パーツごとの特徴は把握できた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典」に初めて触れる生徒に対して、1時間で新聞制作と古典作品の紹介をしてしまうのは、どれだけ理解出来たのか実際の新聞制作作業に不安を感じた。 ・授業内容が変更になったりしたので、しっかりとした打ち合わせや学習内容の確認が必要であった。

湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（ 甲西北中 ）学校

教科・単元名	国語・読書感想文指導
授業者氏名	
授業実践期日	6/30~7/9
ねらい	読書感想文の課題や夏休みにも読書ができる環境を作ることに意識した読書指導。全クラスに実施することで、課題図書や、話題の本など普段図書館になじみのない生徒にもアピールをする。
冊数	625冊(課題図書3冊を含む)
単元の工夫及び指導の工夫(図書館教育担当・学校司書等の関わりも含む)	<p>国語科の授業時に、読書感想文の指導を行った。全学年で行ったが、未だに原稿用紙の正しい使い方を理解していない生徒が多い。原稿用紙の正しい使い方を指導した上で、ワークシートを利用し、どのような工夫をすれば、相手に伝わりやすい文章が書けるかを中心に指導した。また、普段出会わない本にも出会う時間にもなったと感じる。</p> <p>学校司書には、課題図書の紹介をしてもらった。巧みな話術で興味をそそられる図書の紹介をしてもらえた。すると、読みたいという生徒が多数見られた。また、自由図書や夏休み期間中に読む本を選ぶ時間にもなった。授業の最後の10分は借りた図書を読む時間としてあてた。すると、全員が静かに集中して読む姿があった。</p> <p>一日のうち、朝読書の時間にしか本を読まない生徒も見られるため、今回の授業は非常によい機会になった。</p>
成果	<p>1人最大5冊借りられることにより、総数622冊の貸出を行えた。</p> <p>普段の学校生活の中で図書室を利用しない生徒も少なくない。だが、授業で図書室を利用したことで、夏休み期間でも図書に触れることができた。</p> <p>また、専門的知識を持つ学校司書に課題図書を説明してもらったことで、図書について質問しやすかった、おすすめの本を紹介してもらえたという生徒の声もあった。</p>
課題	<p>どのような図書で感想文を書くかを自分で選べない生徒も、学級に何人もいた。</p> <p>また、意欲的に取り組めず、読むのが面倒と思っている生徒に対して、どのように図書を薦めるかが課題として残った。これに関しては、学校司書と議論を重ね、次年度につながるようにしていきたい。そして、年に数回学校司書おすすめの図書紹介や、昨年度取り組んだ「ブックウォーク」などを行い、普段から折にふれ、本の紹介をする機会をもっていきたい。</p>

湖南省立 学校図書館の機能を有効活用した 授業実践報告

湖南省立（ 甲西北中 ）学校

教科・単元名	総合・ふるさと学習
授業者氏名	
授業実践期日	1月11日（火）～1月28日（金）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南省の自然や文化を自ら体験体験することにより、自然環境保護や伝統文化継承の意味を考える機会とする。 ・キャリア学習の一環として、現地を直接見聞することにより、郷土の産業や仕事について学ぶ。
冊数	30～35冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書館 教育担当・学校 司書等の関わり も含む）	<p>（教師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の見学地を選ぶために使用。 ・史跡や歴史ある店の古い写真を、生徒への課題として使用。 ・本に記載されている内容から、生徒への課題内容を考える。 ・本に記載されている内容が、現在ではどうなっているか下見に行き確認。 <p>（生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で、見学地のことを調べるために使用。 ・事後学習で、レポートにまとめるために使用。 <p>学校司書さんにも課題を考えてもらったり、下見に行ってもらったりした。また、事前学習や事後学習にも教室に入ってもらい、調べ方やまとめ方の生徒へのアドバイスをもらった。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から実行委員を募り、自分が住む湖南省について生徒だけでなく、教職員も前向きに積極的に取り組むことができていた。 ・ITの扱いにも慣れている生徒も多く、動画の仕上がりもかなりよいものができた。 ・わざわざ外に出る意義を何度も授業内で確認していたこともあり、成果物（動画、紙ベースのもの）に反映されていた。その甲斐あって、オリジナル色の強いものができた。 ・工場見学コースは生徒のインタビューもうまくいったようで、先方からは今後中学生を受け入れたい、と言っていた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コースを24か所設定したが、もう少しコースを絞って、地域密着にした方がよかった。 ・行くコースが2班被ってもよい。生徒の着眼点や考えは異なるので、全く同じような成果物が出来上がることは考えにくい。 ・臨機応変に時間内に回ってほしい。だが、早く課題を済ませた場合、ついでに他のコースも見ることなく学校に戻ってきた班がいくつかあったのが、残念だった。



湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（日枝中）学校

教科・単元名	国語 ブックウォーク
授業者氏名	
授業実践期日	2021年 5月上旬
ねらい	子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため
冊数	82冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業で約10分間ずつ、3冊の本を生徒に読ませる。 ・あらかじめ生徒の人数分の本を教師が用意しておき、どの本に当たるかは、くじで決める。 ・今まで読んでことのないジャンルの本に触れることができ、読書への興味の幅を広げることができる。 ・学校全体の取り組みとするために、図書委員や図書室を利用した生徒、先生方に呼びかけ、図書室にある本の中からおすすめの本1冊を選んでもらい、しおりにおすすめのポイントを書いてもらって、本にはさんでおいた。 ・新しい取り組みなので、学年ごとに「図書館だより」等で内容を知らせた。 ・授業の後で、使った本を図書室の特設コーナーに置き、自由に貸し出しができるようにした。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・くじで読む本が決まるので、ゲーム感覚で楽しんで取り組めた。 ・授業で使った本を後で借りに来る生徒もいて、図書室の活性化につながった。 ・今まで読んでことのないジャンルの本に触れ、読書の幅が広がった。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に興味を持たせるという意味では成果があったが、どんな本を選ぶかによって生徒の意識が変わるので、ねらいを明確にして行う必要があると思う。

湖南省
 学校図書館の機能を有効活用した
 授業実践報告

湖南省立（日枝中）学校

教科・単元名	理科・人体「体の器官を調べよう」
授業者氏名	
授業実践期日	2021年 6月末
ねらい	図書やインターネットの情報をもとに、調べたことを引用や要約してレポートにまとめる
冊数	49冊
単元の工夫 及び指導の 工夫（図書 館教育担 当・学校司 書等の関わ りも含む）	<p><単元の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が体の器官について疑問に思うことをテーマとして、資料を使って主体的に学習に取り組めるように、図書室での学習を設定した。 ・レポート作成は二度目になるので、昨年課題であった引用や要約する力を伸ばせるよう指導を工夫した。 <p><指導の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをポイントを絞ってまとめられるよう、ワークシートを工夫した。 ・以前に学習した生徒の作品を見本として提示し、テーマやまとめ方の参考にできるようにした。 ・司書が引用と要約の違いについて説明し、自分のまとめ方はどちらになるのか、意識させた。 ・本とタブレットを併用することで、より具体的にテーマにせまれるようにした。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各自がテーマを具体的に考えることで、レポートで何を伝えたいのかがはっきりしたので、昨年課題だった資料の探し方、選び方はかなり改善された。 ・本とインターネットのそれぞれの長所を生かした調べ学習ができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習に必要な資料を探すことはできたが、複数の資料をあわせて読み、大切なことを要約したりすることについては、さらに学習を積み重ねる必要がある。